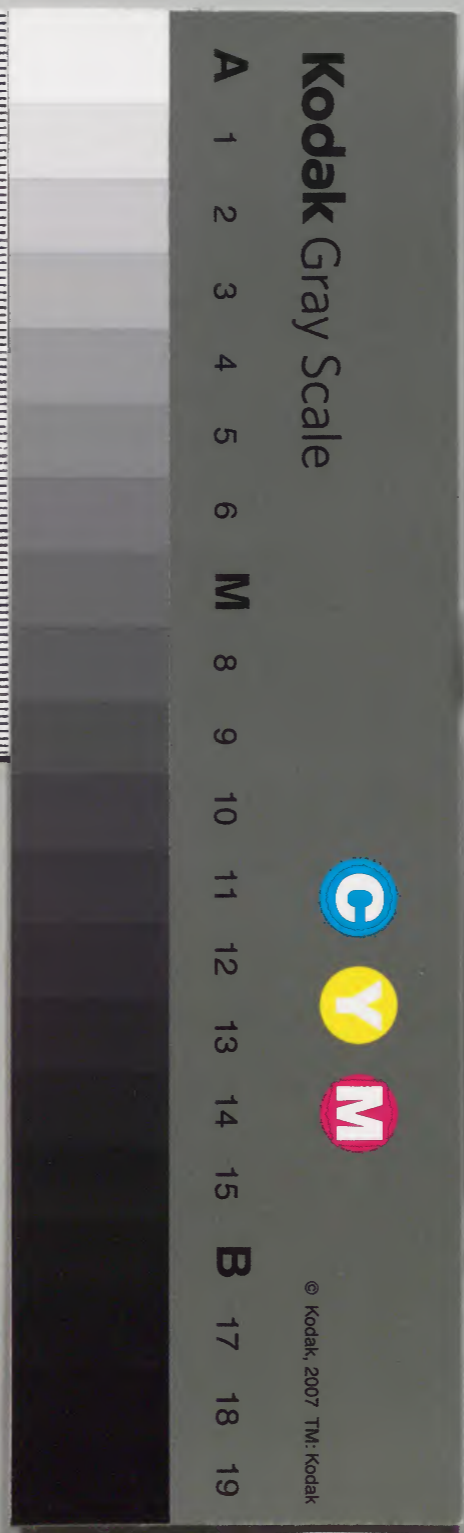


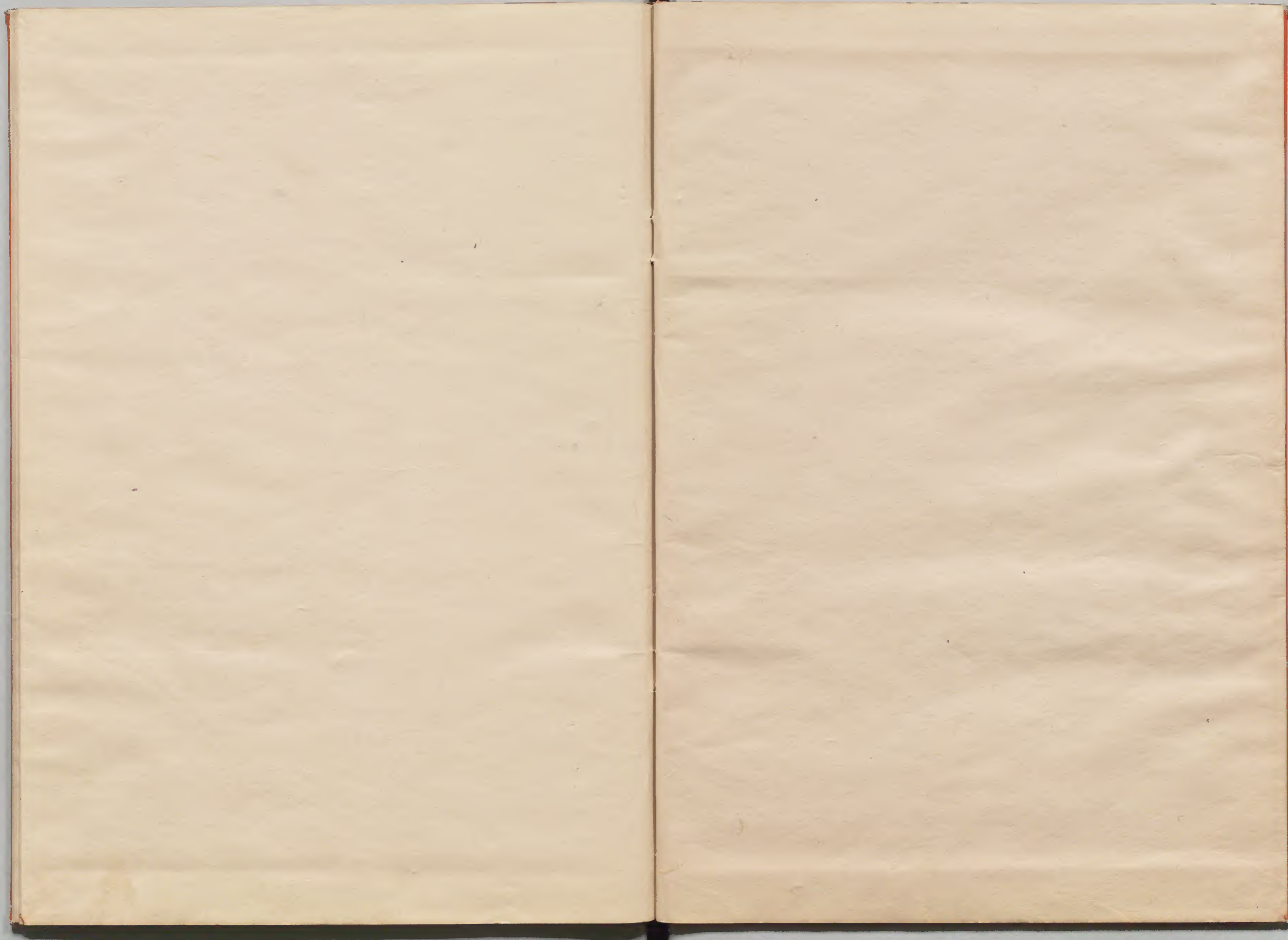
心笑

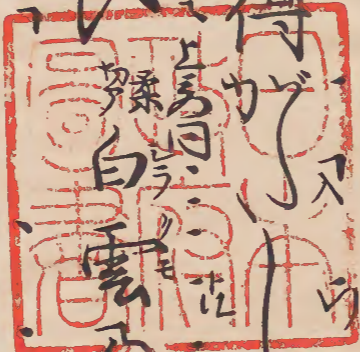
和書門類			
二	一	六	二
一	二	六	七
二	二	六	九
册	架	函	號

內閣文庫		
九	二	和
九	四	書
一	七	
〇	二	
架	册	號

內閣文庫	
番號	和 24729
册數	212 (149)
函號	199 216







淺草文庫

廬山の志を
 白菊の花に
 教もみぢ
 山路の
 喜會ハ
 常
 深
 秋
 風

やまらひ自蓮社と尋ぢやとなら

先づいふ 剛廬山サバと志キヨひ自蓮

社サカ曾カウて溪ナイをイり車コトをキび東南トウ

下香煙山カンあり孤峯コ秀シユをキ遊ユ氣キ具ク

ふとらカこめバ氣キ亂ランとトてテ煙エンのノこコ

一ハあアらラ心シンをシめメるルきキまマやヤあア

陶トウにニ此コノ店テン室シツのノこコらラ茶チャのノかんカン

陸リク休キウ辭ジ陶トウ剛コウ月ゲツがガ尋シンくクまマりリてテら

片ヘ其コノ時トキ裏ウラをシ白ハク蓮レン社シャとトでデ二ニ人ニンのノ

客カクをシひヒくク一ハ廬ロ山サンのノらラかカまマりリてテら

とトあアらラ一ハ廬ロ山サンのノらラかカまマりリてテら

以イ心シン用ヨウ度タクつツ山サン殿テンとトかカけケ暴ボウ

布フとトあアがガめメ諸モロ小コ屋ヤとトあアらラ心シンハハ備ビ

もモあアくクおオてテおオえエれレとト久クまマりリてテら

小もあはらば 倭府 しくニ惠遠(都)即小
ら 何ぞもてしやう 倭 ありた小の
ありハハハで終りぬよー 辰又いけ
真もてしやう 信乃 倭 倭のあり
たハ曾て出たよー 倭 いらて西山
り飛泉よハ名ハあくゆり 倭 名ハ
あくゆり 倭 此(能)よハいりあつた名も

思もれぬづゝ人のあはまらるゝ
ん 官(能)もつれも我(能)を
愛もつゝもつゝもろと客ありた
真遊(能)然として適(能)をわらふ
平を揮て雲(能)を松(能)を海(能)なる
うひくくまたん 本(能)もわん
の名(能)と久(能)きひい(能)ま

てあしは浪乃を五しく若造らて
てあしは浪乃を五しく若造らて
てあしは浪乃を五しく若造らて
てあしは浪乃を五しく若造らて
てあしは浪乃を五しく若造らて
てあしは浪乃を五しく若造らて
てあしは浪乃を五しく若造らて
てあしは浪乃を五しく若造らて
てあしは浪乃を五しく若造らて
てあしは浪乃を五しく若造らて

てあしは浪乃を五しく若造らて
てあしは浪乃を五しく若造らて
てあしは浪乃を五しく若造らて
てあしは浪乃を五しく若造らて
てあしは浪乃を五しく若造らて
てあしは浪乃を五しく若造らて
てあしは浪乃を五しく若造らて
てあしは浪乃を五しく若造らて
てあしは浪乃を五しく若造らて
てあしは浪乃を五しく若造らて

